

令和6年度学校・地域パートナーシップ事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等における結果について

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	
東吉野村	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	与えられた課題については取り組むが、自ら考え、課題を設定して取り組むことが出来ない生徒が多い。	夏期休業中に、生徒自身が設定した課題に取り組む日を設定した。	夏期勉強会において、生徒たちが課題に対する取り組み方を見直す機会を設ける。また、大学生の力を借り、生徒たちに学ぶことの達成感や満足感を味わわせ、主体性を養う。	学校・家庭において、自ら考え、主体的に学ぶ生徒が増える。	夏期勉強会において、主体的に取り組む生徒数の割合	65	%	70	70.2	夏期休業中に開催した夏期勉強会において、生徒たちが主体的に学ぶ姿が定着してきた。「生徒たちが課題に対する取り組み方を見直す機会であること」「学びに対する主体性を養うこと」等の目標を指導員とも共有して実施したため、目標達成に至ったのではないかと考える。